

令和6年度 小平市立小平第七小学校 学校評価計画表

<b>学校教育目標</b>	本校及び地域社会の実態に基づき、「よく考える子」「いつも元気な子」「こころのやさしい子」の育成を目標に掲げ、その達成に努める。
---------------	---

**目指す学校像(ビジョン)**

【目指す学校像】	子どもも大人も笑顔と思いやりがいっぱいの学校
【目指す児童・生徒像】	◎よい考えいっぱい: 他者と考えを深め合える子      ○あいさついっぱい: すすんで行動しようとする子      ○思いやりいっぱい: 相手の気持ちを考えられる子
【目指す教員像】	◎児童を心から慈しみ理解し、よさや個性を引き出し、伸ばす教職員      ○自らの課題を認識し、日々研鑽に努めると共に、協働して磨き合う教職員
	○地域を愛し、地域や保護者と共に感し、積極的に対話しながら地域や保護者からの信頼に応える教職員

○地域を愛し、地域や保護者と共感し、積極的に対話しながら地域や保護者からの信頼に応える教職員

**前年度までの学校経営上の成果と課題**  
 〈成果〉①学習者用端末を含むICT機器の活用により、学力向上につながる授業改善を行うことができた。②校内研究の「書く力」に関する取組により、児童の書くことに対する意識を高めることができた。③保護者・地域との連携を図って教育活動を進めることができた。  
 〈課題〉①教科担任制と校内研究の取組を通して、児童の学力や「書く力」を更に伸ばす。②体力向上への意識を高める。③心の教育の更なる充実を図り、SNSの問題などの未然防止につなげる。

(課題) ①教科担任制と校内研究の取組を通して、児童の学力や「書く力」を更に伸ばす。 ②体力向上への意識を高める。 ③心の教育の更なる充実を図り、SNSの問題などの未然防止につなげる。

	中期経営目標	短期経営目標	具体的方策	取組指標	成果指標
学力向上	「主体的・対話的で深い学び」を大切にし、他者の考えを聞きながら、自分の考えを確かなもののできる児童の育成を目指す。	学習内容の確実な定着を図る。	「計算クエスト」等の実施や学習者用端末等ICT機器等を活用した授業を行う。また、高学年における教科担任制により、教科指導の充実を図る。	4 教職員の取組評価で、肯定的回答80%以上 3 教職員の取組評価で、肯定的回答70%以上80%未満 2 教職員の取組評価で、肯定的回答60%以上70%未満 1 教職員の取組評価で、肯定的回答60%未満	4 児童の自己評価及び保護者アンケートの肯定的な回答80%以上 3 児童の自己評価及び保護者アンケートの肯定的な回答70%以上80%未満 2 児童の自己評価及び保護者アンケートの肯定的な回答60%以上70%未満 1 児童の自己評価及び保護者アンケートの肯定的な回答60%未満
		他者の考えを受け止め、自分の考えを確かなものにして表現する力を向上させる。	「こだいら特活の日」の取組を生かし、年間を通して各学級で話し合い活動を行い、他者の考えを受け止め、自分の考えを表現する経験を積み重ねる。	4 教職員の取組評価で、肯定的回答80%以上 3 教職員の取組評価で、肯定的回答70%以上80%未満 2 教職員の取組評価で、肯定的回答60%以上70%未満 1 教職員の取組評価で、肯定的回答60%未満	4 児童の自己評価で肯定的な回答80%以上 3 児童の自己評価で肯定的な回答70%以上80%未満 2 児童の自己評価で肯定的な回答60%以上70%未満 1 児童の自己評価で肯定的な回答60%未満
		いじめの未然防止、早期発見、早期対応を徹底するとともに、自他を尊重し、相手の気持ちを考えて行動できる児童を育成する。	いじめ防止アンケートの活用や児童の実態把握を日々行い、いじめ対策委員会を中心に組織的にいじめ防止の取組を推進する。また、「特別の教科 道徳」や「こだいら特活の日」を中心に、心の育成に取り組む。	4 教職員の取組評価で、肯定的回答80%以上 3 教職員の取組評価で、肯定的回答70%以上80%未満 2 教職員の取組評価で、肯定的回答60%以上70%未満 1 教職員の取組評価で、肯定的回答60%未満	4 児童の自己評価及び保護者アンケートの肯定的な回答80%以上 3 児童の自己評価及び保護者アンケートの肯定的な回答70%以上80%未満 2 児童の自己評価及び保護者アンケートの肯定的な回答60%以上70%未満 1 児童の自己評価及び保護者アンケートの肯定的な回答60%未満
健全育成（いじめ防止）	心の教育の充実を図り、自他を尊重する態度を養う。	挨拶の習慣化、授業規律の確立を図るなど規範意識を高めるとともに、物事に積極的に取り組む姿勢を奨励する。	あいさつ運動を行うとともに、七小スタンダードを基に、授業等の規律の定着に取り組む。また、行事等で積極的にチャレンジする機運を醸成する。	4 教職員の取組評価で、肯定的回答80%以上 3 教職員の取組評価で、肯定的回答70%以上80%未満 2 教職員の取組評価で、肯定的回答60%以上70%未満 1 教職員の取組評価で、肯定的回答60%未満	4 児童の自己評価で肯定的な回答80%以上 3 児童の自己評価で肯定的な回答70%以上80%未満 2 児童の自己評価で肯定的な回答60%以上70%未満 1 児童の自己評価で肯定的な回答60%未満
		健康教育・食育を推進し、健康保持増進を図る。	養護教諭、栄養士、地域、企業、関係機関等と連携した健康教育・食育を充実させ、健康の保持増進について指導する。	4 教職員の取組評価で、肯定的回答80%以上 3 教職員の取組評価で、肯定的回答70%以上80%未満 2 教職員の取組評価で、肯定的回答60%以上70%未満 1 教職員の取組評価で、肯定的回答60%未満	4 児童の自己評価及び保護者アンケートの肯定的な回答80%以上 3 児童の自己評価及び保護者アンケートの肯定的な回答70%以上80%未満 2 児童の自己評価及び保護者アンケートの肯定的な回答60%以上70%未満 1 児童の自己評価及び保護者アンケートの肯定的な回答60%未満
体力向上	健康やかな体を育成する。	外遊びや体育の授業、行事等を通して、児童の体力向上を図る。	休み時間の外遊びを励行する。また、マラソンチャレンジやなわとびチャレンジ等の取組を通して、運動の日常化を図る。	4 教職員の取組評価で、肯定的回答80%以上 3 教職員の取組評価で、肯定的回答70%以上80%未満 2 教職員の取組評価で、肯定的回答60%以上70%未満 1 教職員の取組評価で、肯定的回答60%未満	4 児童の自己評価で肯定的な回答80%以上 3 児童の自己評価で肯定的な回答70%以上80%未満 2 児童の自己評価で肯定的な回答60%以上70%未満 1 児童の自己評価で肯定的な回答60%未満
		特別支援教育の視点を生かした教育活動をする。	特別支援教育を推進し、通常学級と特別支援教室との連携を図る。	学期に1回、特別支援に関する研修を行い、特別支援教育の指導方法・内容への理解を深める。また、校内委員会で、コーディネーターを中心に支援や指導方針を検討し、統一した対応をするための情報共有を行う。	4 教職員の取組評価で、肯定的回答80%以上 3 教職員の取組評価で、肯定的回答70%以上80%未満 2 教職員の取組評価で、肯定的回答60%以上70%未満 1 教職員の取組評価で、肯定的回答60%未満
特別支援教育	関係幼稚園・保育園・中学校と連携する。	各関係幼・保、中学校と連携し、適切な就学及び小・中学校9年間を見通した教育を行う。	各関係幼・保、中学校と連携し、適切な就学及び小・中学校9年間を見通した教育を行う。	4 教職員の取組評価で、肯定的回答80%以上 3 教職員の取組評価で、肯定的回答70%以上80%未満 2 教職員の取組評価で、肯定的回答60%以上70%未満 1 教職員の取組評価で、肯定的回答60%未満	4 保護者アンケートの肯定的回答80%以上 3 保護者アンケートの肯定的回答70%以上80%未満 2 保護者アンケートの肯定的回答60%以上70%未満 1 保護者アンケートの肯定的回答60%未満
		地域・保護者の教育力を積極的に活用し、各学年のニーズに応じた支援活動で児童の学習を支える。	七小支援ネット、放課後子ども教室、CS、地域人材や関係機関を、連携し、よりよい教育活動を展開する。	4 教職員の取組評価で、肯定的回答80%以上 3 教職員の取組評価で、肯定的回答70%以上80%未満 2 教職員の取組評価で、肯定的回答60%以上70%未満 1 教職員の取組評価で、肯定的回答60%未満	4 保護者アンケートの肯定的回答80%以上 3 保護者アンケートの肯定的回答70%以上80%未満 2 保護者アンケートの肯定的回答60%以上70%未満 1 保護者アンケートの肯定的回答60%未満
地域連携	コミュニティ・スクールであることを生かし、地域の中の学校として、家庭・学校・地域が同じ方向性で児童を育てられるよう連携の推進を図る。	勤務時間・健康管理を意識した働き方を推進する。	欠席等連絡のデジタル化や会議の精選、学校行事の取り組み方の工夫により学年会を充実させ、児童と向き合う時間を確保する。	4 教職員の取組評価で、肯定的回答80%以上 3 教職員の取組評価で、肯定的回答70%以上80%未満 2 教職員の取組評価で、肯定的回答60%以上70%未満 1 教職員の取組評価で、肯定的回答60%未満	4 教職員の改善実感率80%以上 3 教職員の改善実感率70%以上80%未満 2 教職員の改善実感率60%以上70%未満 1 教職員の改善実感率60%未満
		業務改善	業務改善の具体的な方策について共通理解を図り、教職員全体で意識改革を図る。	欠席等連絡のデジタル化や会議の精選、学校行事の取り組み方の工夫により学年会を充実させ、児童と向き合う時間を確保する。	4 教職員の取組評価で、肯定的回答80%以上 3 教職員の取組評価で、肯定的回答70%以上80%未満 2 教職員の取組評価で、肯定的回答60%以上70%未満 1 教職員の取組評価で、肯定的回答60%未満